



## 基本的な考え方

IDECグループが事業を行っていく上で、コンプライアンスや人権、労働、安全衛生、地球環境への配慮など、サステナビリティの考えに沿ったサプライチェーンマネジメントは必要不可欠です。購買に関する基本方針として、購買基本方針、責任ある鉱物調達方針、調達活動における行動基準を定めています。そして、重要なパートナーであるサプライヤーさまと共にCSR活動に取り組むために、IDECグループは国際標準に準拠した「CSR調達ガイドライン」と「グリーン調達ガイドライン」を発行し、サプライヤーさまにガイドラインの遵守、CSRセルフアセスメントの実施とともに、紛争鉱物調査を求めています。また、物流事業者さまと連携して「ホワイト物流」を推進しています。

IDECグループは、ビジネスパートナーと共に強固でレジリエントなサプライチェーンを構築し、社会的責任を果たす、より持続可能な活動を推進していきます。

## 購買基本方針

IDECグループは、新規にお取引いただくに際し、全てのサプライヤーさまと公正・公平に取引できる環境にあります。お客さまの満足度をより一層高めるため、グローバルベースでのSCM(Supply Chain Management)構築に取り組んでおり、広く世界中からサプライヤーさまを求めています。QCD(Quality, Cost, Delivery)に優れた環境負荷の少ない資材調達を追求するとともに、良きパートナーとしてサプライヤーさまとの共存共栄と持続可能な社会への貢献を目指します。

### グローバル

グローバルでの生産活動に対応するため、世界中のサプライヤーさまから優れた部品・原材料を最適な地域より調達します。

### 公正・公平

取引機会の均等を図り、企業規模、国籍を問わず公平に取引を行います。品質、価格、納期、安定供給、CSRなど総合的に公正な評価をして取引を行い、相互協力、信頼関係を構築します。

### グリーン調達

購買取引において環境保護に関連する法令・規格を遵守するとともに、サプライヤーさまと共に環境マネジメントシステムの構築、化学物質管理の徹底、資源リサイクルの推進等の環境負荷低減活動に積極的に取り組み、環境保全に配慮した環境負荷の少ない資材調達に努めます。

### CSR調達

法令遵守、人権尊重、労働安全衛生、およびこれらに関連した責任ある鉱物調達への取り組み、並びに環境保全、社会との共生、適時適切な情報開示、機密情報の保護などに配慮したCSR調達を推進します。

## 責任ある鉱物調達方針

IDECグループは、自社が製造する製品に含まれるタンタル、錫、タングステン、金の調達について、以下に取り組みます。

- 1 経済協力開発機構(OECD)紛争地域および高リスク地域の武装勢力の資金源となっている鉱物を使用しません。
- 2 RMI (Responsible Minerals Initiative)が発行する「CMRT (Conflict Minerals Reporting Template)」「EMRT (Extended Minerals Reporting Template)」を用いた調査により鉱物の原産地と流通地域についてデュー・ディリジェンスを実施し紛争フリー製錬業者から調達するように取り組みます。
- 3 万一、武装勢力の資金源となっている紛争鉱物の使用が判明した場合は、迅速に是正を行います。

## 調達活動における行動基準

### 1 下請法関連等の法令順守

資材等を調達する際には『下請代金支払遅延等防止法』等のいわゆる下請法関連の法令およびその他の法令を遵守します。

### 2 優越的地位の濫用禁止

優越的な地位を利用して資材等の購入先・協力先を不当に取り扱うようなことはしません。

### 3 適切な価格での調達活動

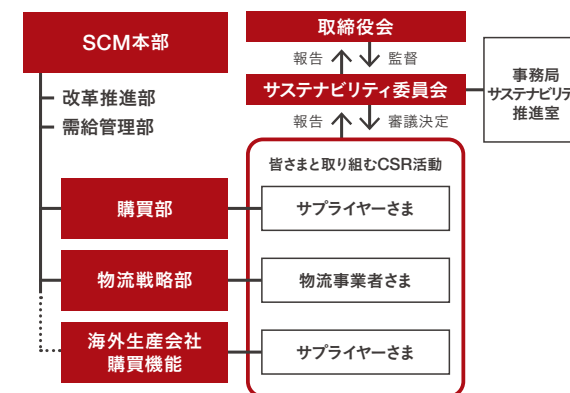
製品を適切な価格でお客さまに提供するために、適切な価格で資材等を調達できるように行動します。

### 4 接待・贈答品等の要求禁止

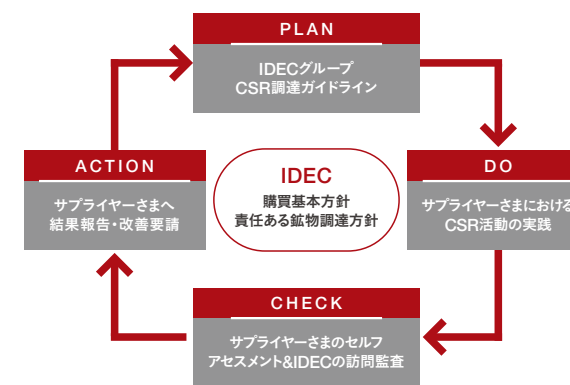
資材等の購入先・協力先に対して、接待・贈答品等の利益提供の要求や受領を行いません。接待・贈答品等の有無により、資材等の購入数量の増減や購入先・協力先の選定等の調達活動に影響を及ぼすような行為はしません。

## 推進体制

IDECグループのCSR調達は、SCM本部が関連部署と協力し、サステナビリティ課題についての計画を策定し、活動しています。代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会で、計画および活動の進捗状況を報告し、審議・決定されます。議論された内容は、取締役会の監督を受けています。



## CSR調達のPDCAサイクル



## サプライヤーさまと取り組むCSR活動

### CSR調達ガイドライン

IDECグループは各国の法令、社会規範を遵守するとともに、ステークホルダーの皆さまからのご期待とご要望に応え、国際的なCSR基準・ガイドラインに沿った調達の取り組みを進めています。IDECグループ行動基準を基本に、国連グローバル・コンパクト10原則、ILO国際労働基準、RBA(Responsible Business Alliance:責任ある企業同盟)が策定する「RBA行動規範」に準拠し、①労働②安全衛生③環境④倫理⑤製品安全⑥管理体制の6分野で構成される「IDECグループCSR調達ガイドライン」を制定し、具体的な考え方を提示しています。またIDECグループでは、サプライヤーさまからコンプライアンスに関する相談・通報を受け付ける窓口「IDECグループ パートナーホットライン」を開設しており、ガイドラインには、その連絡先も記載しています。

このガイドラインに基づいて、IDECグループはサプライヤーさまと一体となってCSR調達を推進しています。

より詳細な情報については、以下をご覧ください。  
<https://jp.idec.com/media/IDECGroupCSRProcurementGuidelinesV2-JP>

### グリーン調達ガイドライン

IDECグループは、事業活動の全ての面で、環境の保全を最重要課題として行動し、低炭素社会、循環型社会の実現を目指しています。この行動の一つとして、環

境に関する国内外の法規制を踏まえた「IDECグループグリーン調達ガイドライン」を発行しています。

本ガイドラインは、製品のライフサイクル全体で、法令の遵守および化学物質管理の徹底、CO<sub>2</sub>削減、資源の有効活用、生物多様性保全など、サプライヤーさまにも、共に積極的に取り組んでいただきたい事項を示しています。

より詳細な情報については、以下をご覧ください。  
[https://jp.idec.com/media/JP-GreenProcurementGuidelines2023Ver2.2\(Text\)](https://jp.idec.com/media/JP-GreenProcurementGuidelines2023Ver2.2(Text))

### CSR調達説明会

CSR調達についてサプライヤーさまにご理解いただき協力を要請する場として、CSR調達説明会を、2018年より、本社および、中国、台湾、タイの生産会社で開催してきました。

説明会においては、CSR調達への協力のお願ひ、製品紹介、工場見学を通じてサプライヤーさまとの交流を図っています。

### サプライヤー通信

サプライヤーさまとの対話や情報の発信、コミュニケーションを通じて、IDECグループへの理解と、サプライヤーさまとの連携強化を目的に、2018年より毎年12月にサステナビリティ推進室が発行し購買部より約300社へ配信しています。

この通信には、サプライヤーさまのCSR取り組み事例の紹介やIDECのCSR活動、経営概況、新製品などを紹介しています。

## CSRセルフアセスメント

サプライヤーさまが自社のCSR活動の推進状況を確認し、CSRの向上に役立てていただくために、CSRセルフアセスメントの実施を推進しています。アセスメント項目は、IDECグループのCSR調達ガイドラインに沿って6つのカテゴリーに分かれており、児童労働や強制労働などを含む人権に関する質問をはじめ、労働環境や安全衛生に配慮しているかを含め、全部で34の設問があります。各設問に対して評価基準に基づいて5段階で評価していただきます。

セルフアセスメントの評価基準

評価点	評価基準	エビデンス
5	当該活動の全ての要素に対応できている。また、対応に必要な文書や記録がある。	必要
4	当該活動についてほぼ対応できている。また、対応を部分的に示す文書か、記録がある。	
3	当該活動についてほぼ対応できている。文書、記録はない。	
2	ほとんど対応できていないが概ね1年以内に対応する。	不要
1	当面の間対応する予定はない。	

このアセスメントを日本国内および、中国、台湾、タイの生産会社の全ての主要なサプライヤーさまに対して、実施しました。実施結果から好事例を取材し「サプライヤー通信」で紹介するとともに、課題項目のあるサプライヤーさまには改善を要請しています。

このアセスメントを通して全サプライヤーさまのCSRレベルの底上げを図っています。

セルフアセスメントの実施会社数、評価平均点

実施年度	実施会社数	カテゴリー						平均
		労働	安全衛生	環境	倫理	製品安全	管理体制	
2022年度	143	4.1	3.9	4.0	3.9	4.2	3.6	3.9
2023年度	211	4.1	3.9	4.0	4.0	4.1	3.6	4.0

## 鉱物調達調査

紛争鉱物については、RMI(Responsible Minerals Initiative)が発行するテンプレート(CMRT、EMRT)を使用し、サプライヤーさまに対して、紛争地域および高リスク地域で精錬された3TG<sup>\*</sup>やコバルト、マイカが含まれていないことを示すレポートを提出いただいています。

<sup>\*</sup> 3TG: 錫、タンタル、タングステン、金

紛争鉱物(3TG)、コバルト・マイカの調査実施会社数

	CMRT(3TG)			EMRT(コバルト、マイカ)		
	対象	回収	回収率	対象	回収	回収率
2022年度	58	44	75.9%	32	20	62.5%
2023年度	65	53	81.5%	65	53	81.5%

## 物流事業者さまと取り組むCSR活動「ホワイト物流」

IDECは、国土交通省・経済産業省・農林水産省が2019年3月から提唱している「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、同年9月に自主行動を宣言しました。

以来、取引先物流事業者さまが労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう配慮するとともに、運送および荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化し、遵守しています。

具体的には、パレット・台車・コンテナ等を活用した荷役時間の削減、運転業務と付帯作業を分離する取り組み、荷待ち時間の短縮、荷役作業の安全対策、異常気象時の運航中止などです。

引き続き、荷主企業として、協力業者さまと連携して生産性の高い物流、働き方改革、持続可能な物流の実現に努めていきます。